

道徳 公開授業・授業研究会

授業者 大泉町立北小学校 中山 明子 教諭
平成26年10月30日(木) 第4学年



内容項目2-(2)思いやり・親切 「相手のことを思って行動することの大切さ」について考える授業を公開しました！



授業では、今まで行ってきた親切を振り返りながら、これからの自分の生活を考えていました。



県内各地からたくさんの方々が参加されました。授業研究会では、熱心な協議が行われました。

【主題名】 「相手のことを思って行動することの大切さ」

内容項目 2-(2)思いやり・親切

【資料名】 心と心のあく手(わたしたちの道徳 小学校3・4年)

【本時のねらい】

自分のとった行動の後、おばあさんが笑顔になった姿を見て、大きな喜びや満足を感じた少年の思いをとらえ、その行動について考えることを通して、相手の状況や気持ちを考えて、親切にしようとする道徳的実践意欲を育てる。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・「親切」という行為には、困っていること、大変な思いをしていることなど相手の状況を想像することによって相手のことを考える「思いやり」が大切であることがわかる。
- ・自分の生活をふり振り返り、身近な人や友だちに対し、自分にできる相手のことを思った親切を行っていこうという意志をもつ。



【提案する手立て】

①発問の工夫 《実践の手引きp.116・117 (中心発問を生かす発問構成の工夫)》

中心発問として、主人公のとった行動について児童の考えを尋ねる発問を設定し、親切にはいろいろな形があり、相手のことを思った行為が大切であることをとらえられるようにする。

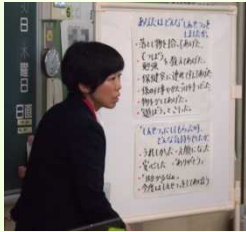
そのために、その前の発問として、おばあさんの笑顔を見て、喜びや満足を感じる場面の主人公の気持ちを考える発問を設定しておく。

②板書の工夫 《指導プランp.123 (児童の思考を深める板書の工夫)》

児童の思考の流れや順序を示す順接的な板書によって、主人公の気持ちの変容をとらえやすくするとともに、心情を表すマーク(心情マーク)を活用することで、登場人物の思いを視覚的にとらえることができるようにする。

授業の様子

1. 本時の学習の見通しをもつ



みんないろいろな親切をしていたんだね。

今日のキーワードは「親切」です。

「親切」に関するアンケート調査の結果を紹介し、価値への方向付けを行いました。

2. 主人公の心の動きについて話し合う

(1) 資料1を聞き、おばあさんと一度目の出会いをした主人公の心情について考える。



プレゼンテーションソフトを活用して資料を分割して読み聞かせました。資料は配付していません。

【発問1】

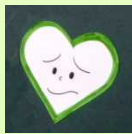
荷物を持つという申し出を断られたはやと君は、どんな気持ちだろう。



「親切にしようと思ったのに」とがっかりしたと思います。

このときのはやと君の心の顔ってこんな顔だったと思わない？

(手立て②) 《指導プランp.123》



心情マーク

(2) 母親の話から、おばあさんの状況を知る。

資料の続きを読み聞かせ、おばあさんが歩く練習をしていたことを伝えました。

(3) 資料2を聞き、おばあさんと二度目の出会いをした主人公の心情について考える。

続きを読み聞かせる前に、二度目の出会いで主人公がどのような行動を取ったかを想像させました。

見守ったのかな。

「がんばれ」って、話しかけたのかな。

資料の続きを読み聞かせ、主人公がおばあさんの後をついていったことを伝えました。

【発問2】

おばあさんの後ろについて歩くはやと君は、どんな気持ちだろう。



「見守ってあげよう」と思ったと思います。

「大丈夫かな」と心配していると思います。



はやと君の心は、まだもやもやが、少し残っているけど、さっきよりは、すっきりしたこんな顔かな。

(4) 資料3を聞き、おばあさんの家の玄関に着いたときの少年の気持ちの変化をとらえる。

資料の最後の部分を読み聞かせました。

おばあさんの心の顔は、こんなにこにこかもしれないね。



主人公の喜びや安心感をとらえさせるために「ぱっと」「ほっと」の言葉に着目させました。

【発問3】

ほっと胸をなでおろした時のはやと君は、どんな思いだろう。

さっぱりしたと思います。今まで、もやもやしていたから。

「おばあさんよかったね」と思っていると思います。



この時のはやと君の心の顔って、どんな顔だったと思う？

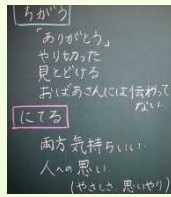
おばあさんと同じ顔。



授業の様子

(5) 主人公の行為について考え、自分の考えをワークシートにまとめる。

再度、アンケート調査の結果を示し、みんなの「親切」と主人公の「親切」を比較しました。



【発問4】(中心発問)

あなたは、はやと君のしたことをどう思いますか。

(手立て①) 《実践の手引きp.116・117》

自分の考えをワークシートに記述させ、数名に発表させました。



えらいと思います。なぜならば、転びそうになった時にすぐに助けられるからです。

両方にとって、よいことだと思います。

おばあさんには、伝わっていないけど、見えない親切だと思います。

3. アンケートをふり返り、これからの自分自身の生活を考える。

アンケート調査の結果をふり返り、今までしてきた親切のよさを再確認するとともに、主人公の親切も踏まえながら、これからの学校生活の中でしてみたい親切について、ワークシートに記述させました。

<ワークシートの記述内容>

- ・今までやってきたことは、見える親切が多かったと思う。これからは、見える親切、見えない親切どちらもしたい。それは、親切をする方、される方、両方が嬉しいからです。
- ・これからは、もっと相手のことを考えて、相手が「優しいな、ありがとう」と思えるような親切をしたいと思います。



【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・中心発問で、子どもたちが主人公の行為についての考えを深められるようにするために、その前の【発問3】で主人公の心情に視点を当てて考えさせたことが効果的だった。
- ・中心発問の前に、これまでに子どもたちが行ってきた「親切」と、主人公の「親切」との比較を行ったことが、価値理解のためにとっても有効だった。
- ・ハート型の「心情マーク」は、登場人物の気持ちの変化を視覚的にとらえやすくとても効果的だった。



<改善点>

- ・主人公の喜びや満足感を得られた理由を問う中心発問を設定すると、より価値理解を図れたのではないかな。
- ・終末のふり返りの活動で、なかなか記述ができない子どもがいた。教師が「表れてほしい児童生徒の反応」を踏まえて、例示すると考えやすくなるのではないかな。

【参加者の声】

- ・価値の自覚に向けて授業を組み立てていくことの大切さを再確認できました。また、心情マーク、映像資料など、視覚的な効果がとてもよかったです。
- ・板書計画がよく練り上げられており、お話の流れや登場人物の心情の変化がよく分かりました。私も板書計画をしっかり立てて授業に臨むようにしたいと改めて思いました。

【授業者の感想】

クラスの実態から、相手の状況や思いに寄り添った「思いやり」「親切」について扱いたいと考えました。子どもたちにとって、これからの「親切」について考えるきっかけになったのではないかと考えます。



日頃より、道徳の授業における発問の難しさを感じているところです。授業研究会を通して様々な参考になる意見をいただくことができ、とても勉強になりました。